

田沢橋付近よりみた北アルプスのパノラマ図

豊科町誌 自然編 目 次

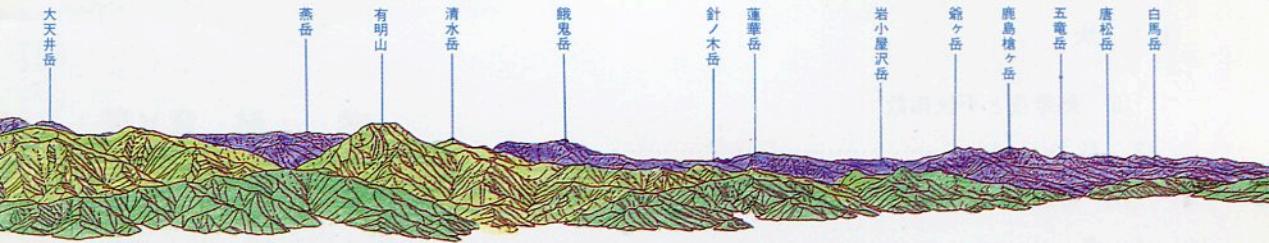
発刊のことば 豊科町長・豊科町誌刊行会長 水谷 太一
例 言

第Ⅰ章 総 論

第1節 豊科町の自然的位置と環境	3
豊科町の自然的位置 豊科町の地形と環境 豊科町の気候の特性 豊科町の自然景観	
第2節 豊科町の自然環境と生物	6
1 概 観	6
2 地域の生物と環境	7

第Ⅱ章 地形・地質

第1節 豊科町の地形・地質の概説	13
1 フォッサマグナの町「豊科」	13
2 豊科町付近の地形・地質	14
(1) 日本の屋根・飛騨山脈 (2) 常念山脈の花崗岩	
(3) 飛騨山脈で学べる地形 (4) 筑摩山地 (5) 大峰山地	
第2節 地 形	20
1 平地の地形	20
(1) 扇状地と段丘 (2) 田沢川の地形 (3) 松本盆地東縁断層崖	
(4) 断層崖下の段丘と小扇状地 (5) 熊倉神社・アルプス霊園の埋積山頂	
2 山地の地形	28
(1) 筑摩山地	
第3節 地 質	31
1 平地の地質	31
(1) 第四紀の地質 (2) 豊科町の地下に埋没した第三紀層	
(3) 豊科駅の地下に大破碎帶（大断層線）	



2 山地の地質 34

(1) 第三紀の地質 34

- ①別所層 ②青木層 ③光城山をつくる青木層 ④柏沢の巨礫のなぞ
- ⑤逆転した地層が見られる光ダム湖 ⑥町田の瓦
- ⑦流れを変えた濁沢川 ⑧砂岩岩脈のみられる中谷の採土場
- ⑨断層が通る中谷 ⑩田沢川で学べる地形と地質

(2) 古生物 50

- ①暖流が流れ込んでいた田沢の海
- ②アロデスマスの化石が発見された柏沢・小松沢

第4節 地質と生活 54

1 陸水 54

(1) 地下水と飲料水 (2) 河川の水質 (3) 犀川の水位 (4) 田沢川の水質

2 温泉 57

(1) 温泉の定義 (2) 豊科町周辺の温泉 (3) 美人の湯「豊科町湯多里山の神」
 (4) 子宝の湯「安曇野温泉・田沢荘」 (5) 麦飯石温泉「ビレッジ安曇野」

3 活断層と地震 63

(1) 活断層 (2) 豊科町と地震 (3) 長野県北部地震と豊科町の震度

4 自然災害 68

第III章 気候

第1節 豊科町（安曇野）の気候の概要 73

1 山美しく水の清い豊科町 2 気温 3 降水量 4 雪

5 風 6 日照と日射 7 天気

第2節 豊科町（安曇野）の四季（四季の変化に恵まれた町） 83

1 春 83

(1) 春と花 (2) 春は火災シーズン (3) 晩霜

2 夏 86

(1) 梅雨 (2) 雷雲とひょう (3) 夏の風 (4) 猛暑と冷夏

目 次

(5) 热帯夜と不快指数	
3 秋	91
(1) 台風 (2) 秋雨から秋晴れへ (3) 秋の霧・初霜 (4) 初冠雪と冬支度	
4 冬	94
(1) 初雪 (2) 冬至 (3) 冬日・真冬日と最低気温 (4) 雪	
第3節 気候と生活	99
1 東山の山地気候 2 生物季節 3 夏の天候と稻作 4 雪形	

第IV章 動 物

第1節 豊科町の動物を育む環境	105
第2節 豊科町の動物の分布と生態	108
1 哺乳類	108
(1) 生物環境の地域分け (2) 豊科町の哺乳類	
2 鳥類	116
(1) 豊科町の鳥相 (2) 平地の鳥 (3) 山地の鳥 (4) 河川・水辺の鳥	
(5) 冬の犀川光ダム湖	
3 両生類・爬虫類	127
(1) 水田地帯のアマガエル (2) 水田地帯のトノサマガエル	
(3) 河川周辺の両生・爬虫類 (4) 東山山塊の両生・爬虫類	
4 魚類	132
(1) スナヤツメ (2) ニジマス (3) ヤマメ (4) アユ (5) カジカ	
(6) ウグイ (7) カマツカ (8) オイカワ (9) ドジョウ	
5 主要昆虫類	136
(1) チョウ (2) ガ (3) トンボ (4) バッタ・コオロギ (5) カメムシ目	
(6) カブトムシ・カミキリ・オサムシ (7) ハチ・アリの仲間	
(8) アブ・ハエ・カ	
6 クモ類	171
(1) 人家屋内外とその周辺	
(2) 水田、畑地、路傍、小川辺、鉄路、草やぶ、立ち木の周辺	
(3) 神社や寺の建物および境内の樹木・草原の周辺	
(4) 犀川の河川敷の川原の礫や川辺周辺	
(5) 光城山を中心とした東山の山野の雑木林・草地・地面	
7 豊科町の底生動物	180

第V章 植 物

第1節 豊科町の植物を育む環境	189
第2節 植物相と植生	190
1 豊科町の植物相（フロラ）	190
2 豊科町の植生	194
第3節 平地の植物	197
1 集落の植物	197
(1) 古い集落地 (2) 新しい住宅地 (3) 市街地 (4) 道路や広場雑草群落	
2 耕作地の植物	200
(1) 水田の植物 (2) 畑の雑草群落	
3 土手の植物	203
4 水辺の植物	208
5 川原の植物	210
6 神社の植物	212
(1) 田沢神明宮の社叢 (2) 熊倉春日神社の社叢 (3) 細萱の洲波神社の社叢 (4) 新田神社の社叢 (5) 真々部諏訪神社の社叢	
7 帰化植物について	215
第4節 山の植物	220
1 光城山を中心とした地域	220
(1) ソメイヨシノ群落 (2) ハリエンジュ群落 (3) コナラ・クヌギ群落 (4) カラマツ人工林群落 (5) スギ人工林群落 (6) アカマツ群落	
2 上ノ山地域の植物	224
(1) 水生植物群落 (2) 上ノ山城跡の植物群落 (3) 西側斜面の植生	
3 山の神地域の植物	228
第5節 天然記念物	228
1 ケショウヤナギ 2 大イチョウ 3 ビャクシン 4 大シダレザクラ 5 シダレヒノキ 6 トゲナシグリ 7 オオシマザクラ 8 ヤマグワの古木	
第6節 薬になる植物	232
第7節 食べられる野生の植物と毒のある植物	235
第8節 豊科のキノコ	239
第9節 草花と子どもの遊び	244

付・資料

〔地形・地質〕「豊科町の生い立ち」	249
1 地下3,000mに日本最古の岩石	
2 飛驒山脈は付加帯の第一号	
3 常念岳は6,000万年前の花崗岩	
4 フォッサ・マグナ海の形成	
5 山地の準平原化	
6 松本盆地の形成	
7 盆地内の段丘地形	
〔気候〕「天気俚諺」	253
「気象災害」	255
〔動物〕「豊科町のトンボの記録」	256
 〔資料目録〕	258
1 動物資料目録	258
1 哺乳類	
2 鳥類	
3 爬虫類	
4 両生類	
5 魚類	
6 昆虫類	
2 豊科町高等植物目録	276
1 シダ植物	
2 種子植物 裸子植物 被子植物	
 〔引用参考文献〕	292
(1) 総論	
(2) 地形・地質	
(3) 気候	
(4) 動物	
(5) 植物	

執筆分担

あとがき

協力者名簿

豊科町誌編纂委員会名簿

豊科町誌刊行会名簿

題字 豊科町長 水谷 太一